

第3章 「第3次所沢市図書館ビジョン」の構成

I. 構成図



2. 基本理念

『市民文化の創造と発展を支える地域の情報拠点』

人生 100 年時代を迎えようとしている今、子どもから高齢者まですべての世代が生涯にわたって学び、活躍できる社会の実現を目指し、豊かな人生を歩むためには、“知の情報拠点”としての「図書館」はなくてはならないものです。

多様な背景や特性、意欲を持つすべての人が、自分らしく主体的に学ぶことができる環境を実現するとともに、学びを社会の持続的な発展に還元し、郷土の大切な歴史・文化を確実につなげていくためにも、「図書館」は大きな役割を担っています。

また「図書館」は、未来を担う子どもたちが読書や学びを通して人生を生き抜いていく力を養い、生涯を通じて人生をより深く豊かなものとするための読書活動推進の拠点としても必要とされています。

所沢図書館が持つ、長い月日をかけて蓄積してきた多分野にわたる蔵書群、データベースをはじめとする多様な情報、地域の様々な知的資産を、市民の皆様に最大限に活用していただくためには、職員の専門性の向上やサービスネットワークの充実など、図書館の根幹となる機能を強化することが求められています。

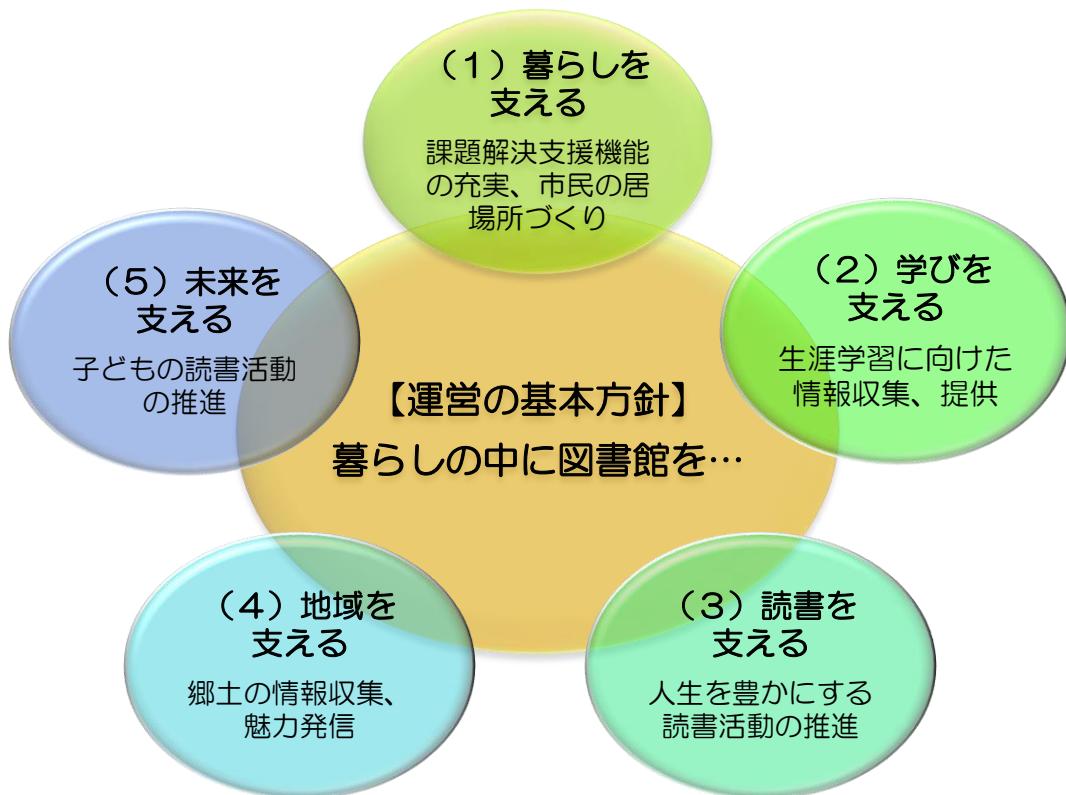
これからも図書館に求められる役割を果たすため、第 1 次、第 2 次所沢市図書館ビジョンから引き継がれてきた基本理念を掲げ、更なる図書館サービスの向上に努めていきます。

3. 運営の基本方針と5つの基本目標

所沢図書館は、広く市民に親しまれる知と文化を支える公共図書館としての機能を果たすために、本館開館当時から「暮らしの中に図書館を…」を運営の基本方針に据え、市民のより身近な存在となるよう積極的にサービスの充実に努めてきました。

今後さらに市民を支え、市民に役立つ図書館としての機能を発揮していくためにも、これまで掲げてきた「暮らしの中に図書館を…」を、引き続き運営の基本方針として位置づけていくこととします。

そして、第2次ビジョンを引き継ぎ、所沢図書館が目指す新たな時代に即した図書館像を、基本方針を支える“5つの基本目標”として、「市民文化の創造と発展を支える地域の情報拠点」という基本理念の実現に向けて、取り組んでいきます。



(1)暮らしを支える

市民が日々の暮らしの中で直面する問題や疑問、課題などに対応できる、幅広い分野の資料・情報の提供機能を備えた、役に立つ図書館づくりを進めます。

また、小さな子どもから高齢者まで、様々な市民が気軽に来館し、居心地の良い環境で本・情報・人と出会い、関心や興味を共有し、つながりを育むことができる場を提供していきます。

市民の暮らしをより豊かなものにするために、新たな知識や価値の創造と発展を支える図書館を目指します。

(2)学びを支える

身近な生涯学習の拠点として、市民の期待に応えうる資料・情報の充実を図るとともに、その活用法を広く市民に発信し、情報リテラシーを高めながら、生涯にわたる自主的な学習を支援します。

また、魅力ある講演会や講座を開催するなど、図書館を活用した学習機会を提供するとともに、市内の企業や団体など多様な主体との協働によりパートナーシップを構築しながら市民が学べる機会を創出していきます。

さらに日々進化していくデジタル技術を活用し、情報にアクセスしやすい図書館を目指します。

(3) 読書を支える

本の楽しさを伝えられるような出会いを創出し、市民の読書活動を支援するとともに、市民のライフスタイルに応じて、快適に図書館サービスを利用できるよう、読書環境の向上を図ります。

また、様々な理由で図書館利用や読書活動が困難な方に対しても、本に親しめる機会と環境づくりを進めます。

誰でも、いつでも、どこにおいても本に触れることができる環境や、読書に関わる取組の充実を目指します。

(4) 地域を支える

所沢を中心とした地域の文化や歴史、風土等に関する資料を収集し、関連機関との連携を密にしながら、貴重な資料・情報を未来へと確実につないでいきます。

また、地域活動の支援に目を向け、多くの市民の関心が集まるような魅力ある情報発信を行っていきます。

さらに、地域の魅力を引き出し、航空発祥の地である特色を生かしながら、所沢への愛着を育むような取組を進めるとともに、図書館自体も市民に親しまれ誇れる施設を目指します。

(5) 未来を支える

子どもたちが「知りたい」「読んでみたい」という好奇心を抱き、自ら進んで本に親しめるような図書館づくりを進めていきます。

また、すべての子どもが、読書を通して未来を生きていく力を蓄え、よりよき社会を担っていけるように、図書館と学校等の関係機関が相互に連携・協力して、読書環境の整備と充実を図っていきます。

さらに、子どもを取り巻く大人たちに対しても、子どもの読書活動に関する様々な普及・啓発活動を行うとともに、地域と連携しながら子育て世代をサポートし、子どもの読書活動を支えていく図書館を目指します。



所沢市イメージマスコット「トコロン」

4. ビジョンの推進に向けて

(1) 市内サービスネットワークの充実

本館が、市内の図書館ネットワークの中核を担う役割を果たすため、コントロールタワーとしての本館の機能を強化・拡充していきます。また、本館を中心とした分館・コンビニ等のネットワーク全体が最大限の効果をあげ、市内全域に柔軟かつ質の高い図書館サービスが均質に行きわたるようサービスネットワークの充実を図ります。

ア 市内全館の情報共有

全館において、均質で良質なサービスを維持・提供できるよう、統一の業務マニュアルに基づいてサービスを行うとともに、館長会議等の各種調整会議を実施し、方針が徹底するよう調整していきます。

イ 効率的な物流の検討

市民の必要とする資料が、各館やサービスポイント等に迅速かつ効率的に届くよう、流通について常に確認し、見直しを行います。

また、返却場所についても、まちづくりセンター等、身近な場所へ設置するなど市民の利便性を考慮した運営を行っていきます。

さらに、所在館方式をとっている各館の蔵書が、過不足なく、調和のとれた構成となるよう、より効果的な資料の循環方法を検討していきます。

ウ 効果的なサービスの検証

定期的な利用者懇談会の開催やアンケートの実施などを通じて、市民の図書館に対する要望や評価を把握し、図書館運営に反映させる仕組みの構築を図り、効果的なサービスが提供されるように検証していきます。

(2) 図書館職員の資質向上

業務の中で培われてきた知識とスキルを継承するとともに、研鑽を積んで職員の資質向上に努め、時代の変化に対応したサービスが提供できる職員体制を目指します。

ア 外部研修への参加

国・県などが実施する各種外部研修へ職員を積極的に派遣し、専門的知識・技術や先進事例を学ぶことにより、図書館職員の専門性向上を図ります。

また、参加した職員の研修成果を職場に還元するなど、新たに得た知識の共有に努め、図書館サービスに生かしていきます。

イ 館内研修体制の確立

業務の中で培われてきた知識とスキルを継承し、専門性の質を高めていくため、館内研修を組織的・計画的に行い、全職員の資質向上を図ります。

また、図書館職員としての知識・技術を高め、研修成果を生かして、市民ボランティア育成のための講師派遣等を行います。

ウ 本館の職員体制の強化

本館においては、図書館ネットワークの中核を担う拠点として、その機能を強化するため、図書館資料等の選定・管理ができる知識を有する職員やレファレンス、児童奉仕等の専門的スキル及び知識を持った職員等の確保・育成に努めます。また、それにより、分館等との連絡・調整や管理・指導ができるマネジメント能力を高め、質のよい図書館運営を行います。

(3) 安心して利用できる環境の構築

自然災害や館内での迷惑行為などのリスクに対して迅速に対応し、利用者が安心して利用できる環境づくりを目指します。

リスク発生時には、迅速かつ適切な行動が可能となるようマニュアルに基づいて対応していきます。なお、マニュアルの内容については、適宜見直しを行います。

また、安全で快適な環境を維持できるよう施設の点検を行い、「所沢市公共施設長寿命化計画」に基づき、ユニバーサルデザインの観点から、誰もが使いやすい施設環境の充実を図ります。

さらに、資料の盗難や無断持ち出し等による被害を防ぎ、市民の財産である情報資源を守るため、また、利用者が安心して安全に図書館を利用できるよう、防犯カメラ等の設置検討も含め、必要な策を講じていきます。